



議会だより

みんなで
花を植えたよ



丸山大橋フラワーロード事業

9月定例議会 “思ひでの校歌がCDに”	2 ページ
決算審査特別委員会	4 ページ
一般質問 2名登壇	6 ページ
村民の声 「子どもたちへ夢をつないで」	8 ページ

ふるさと応援基金活用 65万円

校歌がCDに!

含めて校歌をレコーディングします。
は、これから検討いたします。

平成26年度第5回定例議会が、9月11日～24日の14日間で行われました。
初日は、一般質問に2名が登壇。その後、報告2件、決算認定2件、補正予算を含む5議案の質疑を行い、各常任委員会へ付託しました。決算審査については、決算審査特別委員会を設置し、審議を行いました。
最終日には付託された全議案が可決されました。

健全化判断比率	平成25年度	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	15.0
②連結実質赤字比率	—	20.0
③実質公債費比率	10.4	25.0
④将来負担比率	23.4	350.0

※①、②については、25年度の収支が黒字のため、数値が算出されていません。

③、④については、国が定める判断基準を下回っているため是正改善を指摘するべきものではありません。

資金不足比率については、25年度の資金は不足してならず数値が算出されません。

平成25年度 健全化判断比率 及び資金不足比率

昨年度は、稼働してわずか592万円の純損失となりました。

(株)パワープラント関川 経済状況報告

税条例の改正

軽自動車税

●原付・軽二輪車・小型二輪車の税率を引き上げます。
約1.5倍

●軽自動車(三輪・四輪以上)・小型特殊自動車の税率を引き上げます。

乗用車 1.5倍
貨物車・農耕作業用 約1.25倍

軽四輪車等は、平成27年4月1日以降に、新規登録を受けるものから新税率を適用します。平成26年度までに新規登録を受けたものについては、現行の標準税率のままとなります。
軽自動車の買い替えの際には、十分ご注意ください。



9月定例議会

関川村発足60周年記念事業に

思ひでの

統合になった旧小中学校も
CDの配布、販売等について

総額
46億7740万円に

補正予算 歳入歳出7000万円追加

歳出の一部を掲載

情報システム管理費

中間サーバー・プラットフォーム利用負担金 66万円

マイナンバー制度の中間サーバー・プラットフォーム利用の負担金です。

村有財産管理費

備品購入費 400万円

仮称・村民交流センター（旧山水苑）の冷凍庫等の購入費用です。

交通機関対策費

過疎地域自立促進事業基金管理費 4000万円

過疎対策事業債ソフト事業の起債です。

心身障害者福祉対策費

障害者自立支援給付費支払等システム改修事業委託料 130万円

感染症予防費

予防接種委託料 388万円

水ぼうそう、高齢者肺炎

農業委員会費

農地台帳システム改修業務委託料 400万円

畜産振興費

修繕料 120万円

観光施設管理費

修繕料 688万円

わかぶな高原スキー場第一ペアリフトの監視小屋の修繕やゆくむの操作表示等の修繕です。

観光施設管理費

備品購入費 40万円

猫ちぐら用の糞作業機購入費です。

観光施設管理費

道路橋りょう総務費

消雪パイプ管理システム、デ

道路橋りょう総務費

一タ構築委託料 248万円

紙ベースで管理していたものをデータ管理するための費用です。

学校管理費

通学用バス定期券購入費 66万円

中学生の対象範囲を四ヶ字、六本杉、下川口、湯沢も対象とします。



陳情

○軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情

○私立高等学校への私学助成増額を求める意見書

右記の2件が採択され、関係機関へ送付されます。

決算審査特別委員会

●総務費

Q. ハザードマップ作成の目的は荒川の氾濫に対する備えか。

A. 荒川の氾濫に対するハザードマップは国交省が中心となって作成済ですが、支川の大石川や堤沢川、鉦江沢川は県の管理となっており、まだ作成されていません。今一番の問題は、南赤谷地内の荒川と支流の堤沢川の合流地点です。荒川の水位が上昇すると逆流を防ぐため水門を閉めなければなりません。そうすると、支流の川が溢れ湛水して、内水氾濫がおきてしまいます。今回のハザードマップ作成は内水氾濫に対応するものです。

Q. 地域の防災組織の活性化を図るための施策は。

A. 自主防災組織単位で財政支援を考慮しており、それぞれの実情に合わせて支援します。10月19日には全村対象に避難訓練を計画しています。

●商工労働費

Q. 猫ちぐらは5年待ちと聞いているが、一般のテレビ放映の影響は。

A. 影響は少ないようです。課題としては、作り手、葎むらの確保の問題があります。

●農林水産業費

Q. 有害鳥獣駆除対策として、カラスの捕獲量が減少している。また、猿の行動範囲が広がっているようだが対策は。

A. カラスは檻での捕獲をやめました。有害鳥獣は猟友会に駆除してもらわなければなりません。猟友会の会員も減少しているのが現状です。

●衛生費

Q. 旧荒川町地内のごみ処分場は現在使用しているのか。

A. 現在は使っていません。取り壊さなければなりません。ダイオキシンの問題もあり相当の費用が掛かります。建設中の新ごみ処理場が来年3月に完成の見込みであり、その後、財源を確保して取り壊す予定です。費用は、村上市と村が負担します。

●土木費

Q. 橋梁長寿命化点検の結果は。

A. 片貝、荒谷沢の橋が荷重に耐えられないというこ

とで、一カ所通行止めになっています。

Q. 国道113号線鷹ノ巣バイパスとスキー場への連絡道の関係は。

A. はなみの里付近から利用が可能です。

Q. 片貝住宅は居住者がいるのか。

A. 現在三世帯入居しています。

●教育費

Q. 旧小学校のプールの使用状況と今後の利用は。

A. 現在使用しているのは、旧沼小、旧土沢小、旧女川小のプールです。旧女川小プールは漏水しているようで、今年度は早めに閉鎖しました。旧土沢小プールも同様で、修理にどのくらいかかるのかによって来年度の使用を考えなければなりません。

を し ま す 答 を し ま す

くえっしょんとあんさー
くえっしょんとあんさー
くえっしょんとあんさー



●国民健康保険特別会計

Q. 国保財政の状況は。

A. 国保財政は全国的に厳しい状況にあります。平成25年度の村の国保会計は基金の取り崩しのほか一般会計から2,100万円程の繰入を行いました。村の国保加入者の所得水準は低く、税率を上げるのは困難な状況です。

●宅地等造成特別会計

Q. 今後、宅地造成の計画はあるのか。

A. 分譲地造成の意向はありますが、候補地が決定していません。検討中です。

●簡易水道特別会計

Q. 一般会計からの繰入金がないと経営できないのか。

A. 繰入金で赤字分を補っています。

各委員会での質疑 抜粋して報告いた

Q & A

常任委員会

●過疎地域自立促進計画の一部変更

Q. 関川中学校のグラウンドの面積を拡張する予定は。

A. 寄宿舎の跡地にテニスコートを整備して欲しいという意見もあり、少子化や維持管理費などを考慮しながら全体的に考えます。



●財産管理費

Q. 仮称・村民交流センター(旧山水苑)を、漬物や料理の研究に使用したいとのことだが、特定の人たちが使用するとそれに特化してしまい他の人たちが使えなくなるのではないか。

A. 村の特徴ある料理を開発しようと温泉旅館組合の若手の人たちが利用を希望しています。施設は大広間と厨房施設、住まいの部分があり、料理の研究以外には集会施設として使用するものです。



Q. 旧小・中学校の跡地利用については、今すぐでも考えなければならぬ問題ではないか。

A. 一番の問題は、そこをなくしてしまったら避難場所がなくなってしまうということです。旧安角小学校以外は本格的に使用しようとするときには、耐震補強工事をしなければなりません。国の制度も変わってきており、公共施設の統廃合により、どの施設を残しどの施設を取り壊すか計画を策定することにより、取り壊し費用を起債の対象とすることが可能となりました。残すべきものは残し、使えないものは取り壊さなければなりません。

Q. 校歌CDは一般に配布するの。

●一般管理費

A. ふるさと納税の寄付金を財源にするもので、配布するか販売するかは今後検討します。

質 問



男 信 男
議 員

バイオマス発電所建設計画 早めの決断を 9月22日に関係者と詰めの協議を進めます

議員 8月7日の

臨時会でのバイオマス発電建設計画の現状を村民に知ってもらうため伺う。

確認事項

(1) 建設費は100%パイロライザー社負担で建設する。

(2) 現在、パイロライザー社では投資家を探すパートナーズ社に資金集めを依頼している。

(3) 建設を予定しているスターリングエンジンについては、エンジンメーカーであるハイパーブリック社が無償でエンジンを提供し、この事業に参加したいと

申し出ている。

(4) 材料は村で確保し、10年分の確保の見通しが立っている。

(5) 完成後は、パワープラント関川が運営する。

(6) 9月末にパイロライザー社と詰めの協議を予定している。

村長 木質バイオマス発電事業計画の現在の状況は議員が言われたとおりです。

村民の皆様にも早期にきちんと説明したいと考えています。

議員 いまだ結論が出ない

この事業、早めに結論を出すべきだと思うが、9月の協議で結論が出るのか。

村長 9月22日に関係者と

詰めの協議を進める予定です。定例会最終日に状況報

告ができると思います。

議員 22日に詰めの協議をするようだが、相当の覚悟

で臨んでいただきたい。村長の考えは。

村長 村が不利な条件であれば、これを断ることもやぶさかではありません。

議員 村が一番負担になるのは材料の確保だと思

うが、本当に心配はないのか。

村長 新潟県森林組合連合

会との約束は10年間で終わりというのではなく、その後も順次延長していただけるものと考えています。

議員 新潟県森林組合連合

会の他に材料をお願いしている森林関係者は。

総務課長 村としては、新潟県森林組合連合会一本で進めています。

議員 パイロライザー社が

バイオマス発電所建設計画に資金の20%を投資するのとこの

とですが、村の負担を少なくするために、これ以上投資してもらおう考えはないのか。

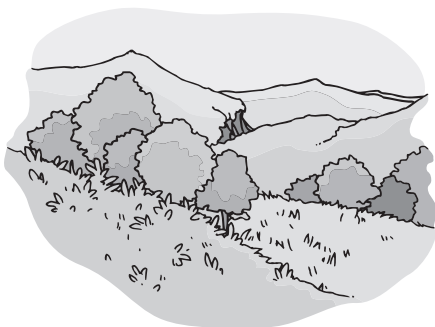
村長 パワープラント関川

を事業運営会社とするために、資本金を2千万円程度にし、村の出資は600万円を限度として、他から出資を募るつもりです。現在数社から出資の意向もあります。差額があればパイロライザージャパンが出資することにしています。

議員 この事業で、平田村

長の信頼が薄れるようなこ

とになれば大変だ。22日の協議には結論を出して欲しい。



般



渡辺 秀雄 議員

ふるさと納税について

本来の趣旨に沿った取り組みを

議員 ふるさと納税は、出身地や応援したい自治体に寄付すると、2千円を超える部分が所得税、個人住民税の控除対象となる優遇制度で平成20年5月に創設された。

現状です。しかし、村としてはお礼の品を贈ることに対し、本来のふるさと納税の趣旨に沿わないのではと考えています。

村長 (1)件数は233件、納税額は約1,470万円あり、県内30市町村のなかで上位に位置しています。

また、ふるさと納税者に納得して貰えるような魅力ある地域づくりは重要なことだと思います。

議員 去年は県内30市町村へのふるさと納税が件数、納税額共に過去最高となり、人気急上昇の内容の報道が最近頻繁に取り上げられているが、村の状況について伺う。

村長 「ふるさと会」や「関川村人会」を中心にパンフレットなどを配布して増額を図っていく考えです。もちろん村民の皆さま方にも知り合いや、親戚の人にも声をかけて頂ければと思います。

議員 国は来年度から、ふるさと納税を拡充する方針を固め、税金が軽減される寄付の上限を2倍に引き上げる他、関連手続きも簡素化する方向である。

(1) 昨年度までの件数と金額の累計は。

村長 (3)他の市町村ではふるさと納税のお礼に、特産品などを贈る動きが盛んになってきており、総務省の調査によると約5割の自治体の特産品を贈っているそうです。

議員 村の魅力を発信して納税額を増やしていくためにも田植えツアーや、稲刈り体験等自然を生かした取り組みが重要と考えるが。

(2) 件数、金額を増やす方策は。

村長 県内では3分の2の自治体の特産品を贈っているのが

村長 ご提案いただいたことは大変重要なので、どのように生かしていくか検討します。

第5次関川村総合計画(後期計画)について

計画を検証しながら第6次計画に反映

議員 平成23年度に後期計画を策定し今年度で4年目になり、あと1年のスパンしかない。

発表した2040年の、人口推移では消滅の可能性が高い523自治体のなかに当村も含まれているが、これは自治体の総合力の問題であるだけに決め手がありません。

毎年進捗状況を検証しながら新年度の取り組みに生かしていると思うが、計画どおり推進しているか次の5点について伺う。

第6次計画では人口減少抑制対策等質問の5項目を含めた計画全般の検証をしながら、政府が新設している、まち・ひと・しごと創生本部が定める基本方針、基本計画を確認しながら、計画の組み立てを大きく変更して策定したいと考えています。

- (1) 健康づくり
- (2) 人口減少抑制対策
- (3) 集落、コミュニティの役割
- (4) 人材の育成
- (5) スローライフ運動の展開

また、行政課題をこれまでの縦割りではなく、横の連携に重点を置いた計画づくりを進めて、危機感を持って村民の皆さまと一致協力しながら、未来を切り開いていきます。

村長 今年から取り組みつつある第6次総合計画についての基本的な方向を申し上げた方がご理解頂けると思い、そちらに重点をおいてお答えします。

議員 総合計画の策定では、財政基盤が弱い関川村の場合は、国や県の動向に大きな影響を受けます。日本創生会議が

村民の声

子どもたちへ 夢をつないで

あべきよし さん
阿部 喜代志 (大島)



近 裕^{ひろたか}君、大島生まれのスポーツ大好き少年は、土沢小学校時代スポーツ少年団でミニバスケットボール、関谷中学校時代は、甲子園を目指し野球、その後村上高校に進学。ちょうど彼の姉が女子バレーボール部に所属していた事がきっかけでバレーボールと出会うことになった。

部活の遠征先で東海大学バレーボール部の元全日本コーチの斎藤 勝先生に実力を認められ東海大学へ入学。バレーボール一筋に活躍し、2009年には全日本インカレで優勝し、個人のブロンズ賞も獲得する。彼は長男であることから、故郷へ帰ることを考えていたが、就活終盤に豊田合成トレフェルサよりオファーが有り入団。そして間もなく国際大会ユニバーシアードへ出場する。

Vリーグの一昨年度シーズン「スパイク賞(アタック決定率)・ベスト6賞」に輝き全日本代表候補に名を連ねたが、惜しくも最終メンバー入りは叶わなかった。しかし、現在もチームの主力選手として活躍している。

そんな彼を応援しようと、伝 信男さん(後援会会長)が呼びかけをし、地元有志が集まり後援会を結成した。会の名前は、バレーをする彼のひたむきな姿に感銘を受け「関川好裕会」としました。

この「関川好裕会」には、多くの皆様に賛同して頂き、応援旗も作ることが出来ました。

そして、この応援旗は、昨年12月大型バスを貸切で行った、福島県郡山大会の応援ツアー(42名参加)でお披露目となりました。

会としても、大きな目的が達成できた事に対し応援頂いた皆様に感謝しています。今シーズンは、11月22・23日の土・日に、サブホームタウンの富山県氷見市で大会があり、また応援ツアーを計画したいと考えています。

そして、これからもスポーツ選手として関川村に輝く希望を与えていって欲しいと願っています。

私も「関川好裕会」の一員として、今後も近 裕^{ひろたか}君を精一杯応援していきたいと思っています。

9月22日、丸山大橋にフラワーロードが完成した。参加者が花を植え、歩道に並べたプランターには、「ご飯を食べよう」「温泉に入ろう」「ひとりじゃないよ」など、村民思い思いのメッセージが書き込まれている。

市町村道日本一のアーチ橋からは、四季折々の村の姿が一望できる。この日は、抜けるような青空。緑の山々に包まれた大地に、稲の見事な黄金色が広がっていた。■橋を訪れた人が、心のゆとりを取り戻せるようにと願う。面倒な問題はひとまず棚上げし、雄大な風景でさっぱりとした気分になってほしい。足元の花プランターの文字から、生きるためのヒントや勇気をもたらして帰ってほしい。■丸山大橋が明日へのかけ橋になりますように。



平田(ゆ)

編集後記

委員長 平田 友之
副委員長 佐藤 野
委員 津野 庄衛
広報対策特別委員会
委員 渡辺 秀雄
委員 平田 広